



静岡県教育委員会  
教育広報紙

# Eジャーナルしずおか

平成30年(2018年)  
12月5日  
水曜日  
第206号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 未来の自分に向かって～「自立」「社会参加」を目指すキャリア教育～

現在子どもたちが育つ社会は、技術革新やグローバル化の進展など変化が激しく、将来が展望しにくい状況にあります。このような中、子どもたち一人一人が自己の生きる力や働き方について考えを深め、職業生活や日常生活に必要な知識・技能を主体的に身に付けること(キャリア教育)が求められています。子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなくさまざまな課題に柔軟かつたくましく対応できる社会人の育成に向けて、各校ではさまざまな取り組みが行われています。

### 磐田市立豊田中学校

「志」をキーワードにして、キャリア教育にESD(持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育)の視点を取り入れた研究を推進しています。生徒は「全ての学びが未来や社会につながっていること」を実感し、より広い視野に立った志をもつことができるように、「授業づくり」、「志づくり」、「仲間づくり」の各教育活動を系統的に行っています。

1年生では、志の意味を考えることができるように、地域の方々の志を聞く「ようこそ先輩」や、3年生の志やこれまでの取り組みを聞く「先輩授業」を行っています。2年生では、自分の志をもつことができるように「職業体験活動」を行い、志を他者に伝えることができるように「志発表会」を行っています。さらに、3年生では、自分の志を実現していくことができるように「地域貢献活動」を行い、卒業後や将来の自分の志を思い描き、1年生に「先輩授業」で伝えていきます。

このような実践を積み重ねていくことで、「人の役に立ちたい、人に喜んでもらえたいのはうれしい」と考える生徒や、「自分なりの志をもっている」と考える生徒が増えていきます。

豊田中学校のホームページには、こうした教育計画の工夫や実践の様子、研究の成果などが数多く紹介されています。ぜひご覧ください。HP <http://toyoda-j.city-iwata.ed.jp/>



地域貢献活動(3年生)の様子



桑葉の収穫作業

### 県立東部特別支援学校伊豆松崎分校

東部特別支援学校伊豆松崎分校は、松崎高等学校内に設置された高等部の分校で、生徒の豊かな生活と地域に根ざした学校づくりに取り組んでいます。

特別支援学校では、職業教育の一環としてさまざまな作業活動を通じ、将来の職業生活や社会自立に必要なことを学ぶ作業学習を行います。伊豆松崎分校では、企業組合松崎桑葉ファームと協働した桑葉栽培や、地域の方と一緒に田んぼを使った花畑の整備等を行い、働くことの基本を学んでいます。また、生徒が栽培した野菜や製作した木工品・陶食器等を、地域の交流館を会場にした「青空市」で販売し、多くの方に手に取っていただいています。

さらに、松崎・西伊豆両町の中学校3校と松崎高等学校と共に、ふるさとに関する体験学習を「西豆(さいず)学」とし、学んだことを発表する会を毎年開いています。この西豆学合同発表会では、伊豆松崎分校の生徒も地域について調べたことや防災に関すること、進路に向けた職場実習の体験などについて発表をしています。

地域を知り、地域の方と触れ合いながら地域づくりに貢献できることは、生徒のふるさとへの関心や理解を深め、将来の社会生活に生きる力としてつながっています。

### 県立小山高等学校

「キャリア教育に関して、文部科学大臣表彰受賞」

小山高等学校では、教育目標に「いかなる時代にもたくましく生き抜ける人間の育成」を掲げ、地元自治体(小山町)や地域の企業等と連携して、キャリア教育に取り組んでいます。

具体的には地元企業の採用担当者を講師とした「キャリア講演会」や1年生全員が小山町役場で、役場の役割を理解するとともに、町が抱えている課題を知り、その解決策を考える機会とする「インターンシップ」を実施しています。また、小山町が主催する「高校生議会」では、生徒が町の行政担当者や質疑応答を行い、町の在り方について提言することによって、生徒の地元に対する理解を深め、地元行政に積極的に参画する姿勢を育むとともに、地域振興と地域活性化に貢献しています。



小山町「ホテルの里」を整備する生徒

【義務教育課、高校教育課、特別支援教育課】

## 「生きる道」<sup>(※)</sup>としての仕事を学ぶ環境づくりー見て、「触れて」、「感動する」体験学習を産業界が応援します!!

子どもたちの職業観や郷土を愛する心を育むため、県内を代表する産業の仕事の現場やプロの職業人の姿を「見て」、「触れて」、「感動し」、憧れを呼ぶ体験学習の普及を、県内産業界と連携して進めています。

### モデル校の取り組み

実施校	県内小学校3校
対象者	小学校高学年
時期	9月11日(掛川)、10月18日(静岡)、12月11日(富士)
代表的な体験現場	ものづくり：(株)タミヤ、(株)ヤナギハラメカクス 漁業、水産業：漁業高等学園、シーラック(株) インフラ関係：富士山静岡空港、橋梁建設現場



▲カツオー本釣り体験

### 普及の取り組み

県内企業の中で体験の受け入れができる仕事の現場の一部を紹介する「ふじのくに見る、触れる、感動する場の体験ガイドブック」を作り、各小中学校に配布しました。授業での体験学習を企画する際には、ぜひご活用ください。



▲体験の受け入れ先を紹介するガイドブック

(※)県では、武士道や商人道といわれるように、富士山のような高い志を持ち、社会に対し責任を果たして貢献する生き方を「生きる道」としています。

【経済産業部労働政策課】

## 「高校生が地域産業を学ぶ実践的インターンシップ」 ～アルバイトを通じて地域を知る取り組み～

賀茂地域の各高校と賀茂地域局では、平成29年2月に策定した「賀茂地域教育振興方針」の基本目標の一つである「学校・家庭・地域が連携し、地域全体で「賀茂の子」を育てる環境づくり」の一環として、高校生のアルバイトをインターンシップとして位置付け、地域を学ぶ取り組み「実践的インターンシップ」を始めました。

社会体験学習やキャリア教育として、大人の職場を体験することは、生徒一人一人にとって、進路を考え、キャリアプランを描きかけとなるのが期待されます。一方で、ごく短期間で、かつ、受け入れ企業の側にとっても無償での協力であるため、生徒にしっかり責任を持たせた、仕事の本質に迫るレベルまでは、プログラムに組みきれないといった課題がありました。

### アルバイトを「地域を学ぶ場」にしよう

雇用契約の下、生徒が提供する労働の対価として賃金が支払われる中で、社会のルールを直に学びながら、生徒が責任を持って仕事をやり遂げ、自分の将来像へのヒントを得る場を提供しようというのが「高校生が地域産業を学ぶ実践的インターンシップ」です。

### 初の試み!「年少者雇用事業者研修会」

取り組みが機能するためには、雇い主である企業や地域の大人が、この取り組みの目的を十分に理解し、雇った生徒にとっての「先生」となる必要があります。

今年の6月から7月にかけて、管内の事業主を対象に「年少者雇用事業者研修会」を開催しました。労働基準監督署が若者を雇用するときのルール、ハローワークが求人手続き、県が取り組みの趣旨を説明し、単に労働力としてではなく、将来の地域を担う若者をみんなで育てるという意識で雇用していただくようお願いしました。

自治体、労働基準監督署、ハローワークの3者が若者の雇用に関して協働して研修会を実施するのは、県内では初の試みです。



年少者雇用事業者研修会の様子

### この夏の取り組みとこれから

今回の取り組みで、夏休み中に7人の生徒が「実践的インターンシップ」に挑戦しました。事後アンケートでは、生徒にとって単なるアルバイトだったものを「実践的インターンシップ」として位置付けたことで、仕事に取り組む姿勢や意識の変化が見えるなど期待された成果が得られたと考えています。

今後、この取り組みをさらに進めていくため、地域の商工会議所・商工会などの団体が、取り組みの中心となる体制を構築し、継続を図っていきます。

【賀茂地域局】



# 実践NOTE409 教育行政職 CDP元年

教育総務課 人事班 主査 青井拓司

## 「仕事人生を振り返り、未来を設計する」

写真をご覧ください。能力開発を進めて組織にグループでトランプをプレイする、組織は、それを研修や人事異動を通じて支援、活用していく。目指すところは、個人と組織でWin-Winの関係であり、組織全体のパフォーマンスを上げる仕組みです。



トランプ

### CDPとは

冒頭の写真は、これから説明する「CDP」の核となるキャリア開発研修の様子です。本年度は教育行政職CDP元年となりました。県教委事務局と県立学校の事務室には多くの教育行政職員が働いていますが、その方々の育成プログラムがCDPです。このCDPを教育行政職員だけでなく、学校の管理職や教員の皆さんにも理解してほしいと思います。その理由は後ほど。さて、そもそもCDPとは、「キャリア・デベロップメント・プログラム」の略です。英文字は、難解な印象がありますが、実はシンプルです。職員個人は、自分自身の仕事人(キャリア)を自ら描き、



個と組織の関係の意識改革

まず、このCDPでは、30歳と40歳でキャリア開発研修を用意します。通常、研修は一斉講義を受けて知識を身に付け、スキルの向上を図るものです。でも、このキャリア開発研修は一味違って、研修の題材が「自分自身」です。

### 研修の題材は自分自身



講義の様子(筆者)

### 人事異動への反映

こうして計画されたキャリア意向は、11月に提出する人事意向調査中の「キャリア調査」により、人事担当に申告されます。能力を分析し、他者から

もアドバイスをもらい、自分では気付かない強みを発見します。自分の能力に悩みを持つ方もいるかもしれませんが、実は皆さんは過去の仕事の中で自然に能力を身に付けています。このプロセスで自分の強みと適性を知ることが出来るれば、モチベーション高く仕事ができます。

### これからの教育行政職

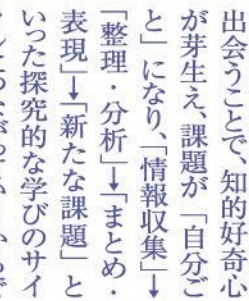
では、なぜCDPでの能力開発が必要なのでしょう。まず、昨年度からの新規採用職員は、知事部局と統一された行政職であり、知事部局のCDPで育成されます。教育行政職で採用された若手にも同様の仕組みが必要です。さらに、学校現場が多忙化する中で、これからの学校事務職員には、行政職ならではの視点とスキルで、校務を支援することが求められます。例えば、学校と地域をつなぐコーディネーターの役割やSSW(スクール・ソーシャルワーカー)のような福祉と学校をつなぐ役割も、本来は行政の仕事です。こうした経験を積んだ事務職員を育てることが出来れば、教員の負担軽減にもつながるはずです。

# 実践NOTE410 総合的な学習の時間 地域素材の教材化

静岡市立清水飯田小学校 教諭 小川訓靖

## 「水」はなぜ宝なのか

総合的な学習の時間において、私が最も大切にしていることは、「地域の驚き」の事実との出会いです。「これまで全く知らなかった地域の驚きの事実」と出会ったことで、知的好奇心が芽生え、課題が「自分ごと」になり、「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」「新たな課題」といった探究的な学びのサイクルにつながっていくからです。子どもたちの学びに向かう原動力の高まりによって、ひと・もの・ことへの積極的な働き掛け(対話的学び)が始まり、ダイナミックな学び(深い学び)が生まれていくと考えています。



筆者

### 探究活動スタート

生涯学習交流館において、広報誌「飯田わがまち」を見直したところ、平成3年の広報誌に「飯田の好きな場所アンケート」を実施した結果が掲載されていました。当時の人々が好きな場所第1位は、水田の水確保のために造られたため池、山原堤でした。そこで、同じアンケートを本校の5年生に実施したところ、同じように山原堤やその堤から流れる山原川が第1位でした。

### 飯田地域を見つめ直す

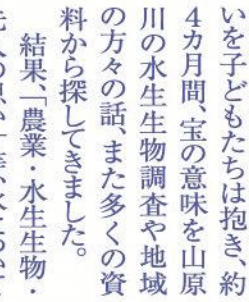


筆者

### 今後の飯田地域について考える

今年子どもたちが探してきた「飯田」として「水は宝」というキーワードは、残念ながら現在の飯田においてその意識は薄れ、その言葉も時代の流れとともに失われようとしていることがア

この事実を共有すると同時に、昨年度、社会科の地域学習において、子どもが曾祖母から聞いてきた「水はこの村(飯田)にとって一番の宝物」という言葉を提示しました。飯田の人々が今も昔も好きな水辺環境、しかし、「かつて、この地域では水は宝で、粗末に扱っていたことが許されなかった」という事実があったことを子どもたちは知りました。「なぜ水は飯田にとって宝なのか知りたい」といった思いを子どもたちは抱き、約4カ月間、宝の意味を山原川の水生生物調査や地域の方々の話、また多くの資料から探してきました。



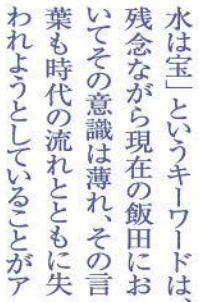
課題設定

### おわり

どの地域にも、知っているようで知らない驚きがあります。今後、その驚きを見つけ発信していくことで、自分のふるさとに自信と誇りをもつてほしいと考えています。



水生生物調査



今後どうしていきたいか



イデコちゃん

老後のために、いま、できる、こと

「iDeCo(イデコ)」とは個人型確定拠出年金の愛称で、公的年金にプラスして個人で加入できる年金です。3つの税制優遇があり、そのうちのひとつが所得控除です。年末調整での申告により、所得税・住民税軽減のメリットが受けられます。年末調整で申告できなかった場合は確定申告することとなります。源泉徴収票が発行されたら、国税庁のホームページの確定申告フォームに入力することで、確定申告書を作成することができます。iDeCoには60歳まで原則引き出せない、手数料がかかる、運用は自身の責任によって行われるなど注意すべき点もあります。iDeCoの公式サイトではマンガ等で分かりやすく紹介されています。老後のための財産形成にはさまざまな方法があります。それぞれのメリット、デメリットを理解した上で利用していきましょう。

### 【福利課】



# 先生になりたい中高生が集合！「ふじのくに中学生・高校生のための教職セミナー」

## ① 例年以上の参加者！

「将来、先生になりたい」と考える中学生・高校生とその保護者を対象に、県教育委員会では10月28日(日)に教職セミナーを開催しました。

8回目となる今回は、昨年を50人以上も上回る258人の参加申込みがあり、県内3会場(東部:三島長陵高校、中部:静岡県庁、西部:浜松総合庁舎)に分かれて実施しました。採用2～5年目の若手教員が各会場5人ずつ講師となり、これまでの経験を踏まえて、教職の魅力を熱く語りました。



## ② 実はこんな人も…

今年度の講師の中には、自分自身が高校生だった数年前、教職セミナーに参加して教職の魅力を知ったことで教員への夢を新たに、教員採用試験に見事合格して教壇に立っている先生もいました。



## ③ 教員は社交的？

学校現場で生き生きと働く若手教員の皆さんは、自分のクラスや授業の様子などについて、写真等を使って説明してくれました。児童生徒との触れ合いをうれしそうに語る姿からは、教員の仕事を楽んでいる様子が伝わってきました。

教員は社交的な明るい性格でないと務まらないと思われがちですが、若手教員の一人からは、「私は人見知りなので、教員に向いていないのではないかと悩んだが、だからこそおとなしい子どもの気持ちが分かる。人見知りの子もがんばって！」というメッセージも送られました。

また、養護教諭の「養護教諭がいてこそ、保健室は安心できる場所となる」という言葉からは、やりがいとともにプライドを持って仕事に打ち込んでいる姿が伝わってきました。



## ④ 質問コーナーも！

若手教員の話の後は、パネルディスカッション。司会者の質問に応じて、教員を目指したきっかけや、実際に教員になってみて想像と違ったことなどが、面白エピソードも交えて披露されました。



その後の質問コーナーでは、参加者から「学校行事で、クラスの中に入って熱心に指導する先生もいれば、離れて見守る先生もいるが、その違いは？」や「生徒を叱るときに気を付けていることは？」などの質問が出され、若手教員が自分自身の経験をもとに回答していました。中には「先生になってから、恋愛面での出会いはありますか?」という質問も出され、「ありますよ」と言い切った若手教員のコメントには会場内から思わず笑みがこぼれました。

質問が飛び交い、盛り上がったディスカッションもあつという間に終了。時間がなくて質問しきれなかった参加者は、閉会後に若手教員を取り囲んで質問を投げかけ、若手教員も未来の後輩に対して熱心に答えていました。

## ⑤ 夢に近づくきっかけに

閉会後のアンケートでは、「ネットなどで調べてもなかなか知ることのできない情報を、たくさん聞くことができて参考になりました」、「自分の将来の夢に一步近付いた感じがしました」、「不安がとけ、教職についてより興味が持てるようになりました」などの意見が寄せられました。

教職は魅力あふれる仕事です。参加してくれた人にも、所用で参加できなかった人にも、教職の素晴らしさが広まるきっかけになってくれたらうれしいです。

【義務教育課、高校教育課、特別支援教育課】



悩みもあれば不安もある。それを解決できるのが学校の先生。

## 富士山静岡空港から「教育旅行に」出掛けよう vol.18 海外教育旅行のすすめ～タイの魅力～

県教育委員会が促進する海外修学旅行やふじのくにグローバル人材育成基金による海外留学・海外インターンシップを通じて、国際感覚を体感した高校生が増えています。彼らが今後の大学や社会人生活で海外体験を生かしてくれることが楽しみです。ここでは、タイへの教育旅行の魅力をご紹介します。

### ☆ タイの教育旅行調査団の実施

富士山静岡空港利用促進協議会の教育旅行委員会(委員長静岡高等学校長)では、海外教育旅行の促進を目指し、8月に公私立の校長などによるタイへの教育旅行調査団を実施しました。

### ☆ タイ教育旅行の魅力

タイは多くの独自の文化や史跡に触れることができます。日本との交流の歴史も深く、また、都市部は近代化が著しく、ホテルは施設やサービスが充実しており、生徒たちの受け入れ体制が整っています。さらに親日的で治安が良く、安心して交流や研修ができる国であることが確認できました。

### ☆ 交流プログラムの視察・体験

訪問したバンコクとアユタヤの高校はいずれも、生徒の学習意欲が高く、日本語教育にも積極的で、静岡にも興味を持ってくれました。バンコクの高校では、調査団の訪問にあわせて「日本祭り」を開催し、メイド服の生徒がたこ焼きなどを作って歓迎してくれました(写真)。浜北西高校がタイの高校と交流を始めていますが、タイの高校は交流先としての環境が整っています。また、現地で働く静岡県企業の社員との懇談会も開催しました。

ぜひ、タイへの教育旅行を検討してみませんか。

### ☆ 静岡空港の利用の可能性

静岡空港から中国東方航空の上海乗継でバンコクに入りましたが、空港までのアクセスや搭乗手続きは本当に便利です。なお、県では、タイへの直行便運航の実現にも努めているところです。

さらに、富士山静岡空港利用促進協議会では、静岡空港を活用した教育旅行の支援制度も用意しており費用の節約になります。教育旅行の際には、ぜひとも富士山静岡空港を利用ください。



訪問高校で歓迎を受ける調査団/バンコク

各校のご希望に沿う空港利用方法や支援制度、各調査団の詳細をご案内しますので、お気軽にご相談ください。

問 文化・観光部空港利用促進課 ☎054(221)3539

## 咲かせようふじのくにの芸術を

### 若きアーティストの作品に心が躍る！「学生アートフェスティバル」

ふじのくに芸術祭では、県内で芸術を学ぶ生徒・学生が主役となる学生アートフェスティバルを12月に開催します。

今年は、伊東高校城ヶ崎分校、御殿場高校生活創造デザイン科が初参加！その他沼津西高校、清水南高校、浜松江之島高校、私立高校、専門学校、大学等による約300点の美術・書道作品を展示します。

また、会場では文芸コンクール高校生短歌・俳句・川柳コンクールの入賞作品も展示。今年も沼津西高校書道専攻の皆さんに筆耕していただきます。

若者のエネルギー溢れる作品をぜひ会場でご覧ください。

○日 時 12月19日(水)～23日(日) 10時～17時30分(入場は17時まで) 最終日は15時半終了  
○会 場 県立美術館県民ギャラリー 入場無料



文芸芸術祭 2018 ギャラリートーク

### いいとこどり!!「美術部門優秀作品展」

9月～11月に、大好評のうちに終了したふじのくに芸術祭美術展、書道展、写真展。優秀作品展では、これらの入賞作品と招待作品(前年度の静岡県芸術祭賞受賞者の出品)のみを集めて展示します。県内最高レベルの作品を一度に鑑賞できると毎年大好評。会場はショッピングセンター内にあり、入場は20時まで可能です。気軽にお立ち寄りください。

○日 時 平成31年1月16日(水)～21日(月) 10時～20時(最終日は16時まで)  
○会 場 イシバシプラザ4階ホール(沼津市高島本町) 入場無料

### 私たちのまちに、芸術家がやってくる！

#### ■平成31年度静岡県巡回劇場の開催地募集

県では、子どもたちに芸術・文化への関心を高めてもらうため、学校や文化施設に講師となる芸術家を派遣する事業「静岡県巡回劇場」を開催しています。本年度は県内3カ所で開催しました。

講師は、県内外で活躍されているプロの方たちで、講話や実技披露をしてくれます。専門的で高度な技法に触れられるだけでなく、その道の達人ならではの経験やものの見方を学ぶことができます。

12月に、来年度の開催地を募集します。応募方法その他詳細は、市町文化行政主管課または市町教育委員会文化担当課を通じて照会します。

○主 催 者 県、開催市町または市町教育委員会、(公財)日本青少年文化センター  
○公演時期 原則として10月から12月まで  
○対 象 者 小中学生及び一般  
○経 費 主催者側で負担して負担



問 文化・観光部文化政策課 ☎054(221)3109

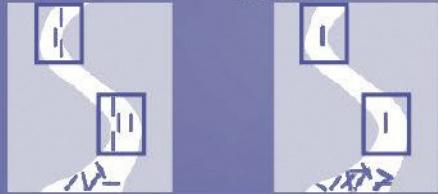


## 「流水の働き」の授業における板書例から授業展開のポイントを紹介します ～平成30年度全国学力・学習状況調査から、「分析から考察を記述すること」に課題が見られました～

曲がった川に大雨が降り、一度に流れる水の量が増えると、土地のようすはどのように変わるだろうか

- 予想  
○実験方法  
○実験結果

1本のペットボトルの水を流したときのぼうのようす  
2本のペットボトルの水を同時に流したときのぼうのようす



一度に流す水の量とたおれたぼうの数

	上流		下流	
	内側	外側	内側	外側
1本	0本	3本	0本	3本
2本同時	2本	3本	2本	3本

○考察

川の曲がっているところの内側、外側の両方ともぼうがたおれたことから、一度に流す水の量を増やすと、地面は内側も外側も削られるといえる。

○まとめ

課題の見られた問題の概要

小学校理科 ②(3)

一度に流す水の量と川に立てた棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだ理由を書く

ポイント①

実験結果を数値化し、表に整理しましょう。

ポイント②

考察では、「〇〇という実験結果から、△△といえる」など、事実の分析と考察の両方を表現できるようにしましょう。



地域連携  
だより

## 高校生が感動と非日常を提供しました。～熱海高校生ホテルinニューとみよし～

熱海高等学校の生徒が、学校近くのホテル「味と湯の宿ニューとみよし」の協力を得て、ホテル運営に挑戦しました。3年目となる今回は、11月13日～14日の1泊2日の日程で、事前申し込みのあった92人から抽選により52人の宿泊客を受け入れました。生徒36人は、フロントや客室の準備、食事の配膳などの業務を分担し、実際のホテルでの接客業務を行いました。

【教育政策課】

目的

熱海高校は、国際観光温泉文化都市・熱海市に所在する市内唯一の高等学校で、地域社会とのさまざまな連携を通して将来地域社会にとって有為となる人材の育成に努めています。生徒が自ら企画、運営、接客等のホテル業務の大半を行う「熱海高校生ホテル」実習は、知識や技能の向上、社会人としてのマナーの習得、職業観の育成を図り、卒業後地域に根付く人材となることを目的としています。



お客さまを待ち構えるフロント係



生徒代表 3年 坂本 遥人 君

接客では常に笑顔でいる事を意識しました。緊張すると自分の話すスピードが速くなってしまいうので聞き取りやすいよう、ゆっくりと案内や説明を行いました。お客さまをおもてなすにあたり、自分自身だけでなく他の係と連携して、一つのホテルとしておもてなす難しさを実感しました。将来どんな仕事でも人と関わり生きていくのでこの経験を生かしたいです。

熱海高校生ホテルの担当 小見山先生より

「熱海高校生ホテル」の取り組みは、授業として取り組むため生徒のモチベーションもさまざまです。意欲の低い生徒、取り組みに対して否定的な考えのある生徒、逆に将来観光業を目指すといった意欲の高い生徒が混在しています。始めるスタートラインが個々によって違いますが、実習を通じて接客技術の向上、仲間との協調性が芽生える、仕事に対する責任感が生まれる、効率化を学ぶ、自己肯定感が育つなど生徒の成長が見られます。教員として、生徒の成長が見られることが何よりもうれしいことです。



初々しいなんて言わせない丁寧な対応



ホテルの前で全体写真

取材メモ

ホテルに着いた時はフロント係の丁寧な対応に、正規のホテル社員の人だと勘違いしてしまいました。地域の協力で、ここまで実践的にホテル運営を通して接客業を学べる環境は非常に貴重な機会だと感じるとともに高校生が地元のホテルを運営することで熱海高校だけでなく地域の活性化にもつながる取り組みだと感じました。「ニューとみよし」の富岡篤美社長は「高校生が頑張っている姿は、お客さんの反応も良く、何より観光の町の熱海市にある熱海高校で観光業を学んだ経験は生徒にとっても地域にとってもプラスになる」と話してくださり、改めて地域に支えられる教育の大切さを実感しました。

## 学び続ける教員へ ～参加者募集中～

※申込方法は、  
下記問い合わせ先まで要連絡

### 平成31年度「WAZA(わざ)チャレンジ教室」実施校募集!

技能士が小・中学校、特別支援学校に出向いてものづくり体験教室を実施します。アートモザイクや小座布団など16種類の製作物を取り揃えています。ぜひお申し込みください。

- 募集期間 2018年12月中旬～2019年2月上旬  
※各学校に募集案内を送付します。
- 実施日 2019年5月下旬～2020年2月下旬
- 会場 校内各教室等
- 定員 20人～40人程度 / 1製作物
- 費用 300円～1,500円 / 1人(材料費実費)
- 問い合わせ先 経済産業部職業能力開発課  
TEL 054(221)2954 FAX 054(271)1979  
Eメール syokunow@pref.shizuoka.lg.jp

### スケートキャンプ in あさぎり

家族みんなで「フィギュアスケート」をやってみませんか?初めての人でも大丈夫です!先生に教わりながら楽しく滑れるようになります。アイスダンスや発表会にも挑戦します。皆さまのご参加をお待ちしています。

- 募集期間 2018年12月20日(木)まで
- 実施日 2019年1月18日(金)19時～19日(土)12時
- 会場 静岡県立朝霧野外活動センター 屋内スケート場
- 定員 50人 ※応募者多数の場合は抽選を行います。
- 費用 3歳以上中学生まで 4,200円、高校生以上 5,200円
- 問い合わせ先 静岡県立朝霧野外活動センター  
TEL 0544(52)0321 FAX 0544(52)0320  
HP http://asagiri.camping.or.jp

## グランシップ伝統芸能シリーズ

【広告】

## 「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」に学校行事で参加しませんか?

日本が誇る伝統芸能「歌舞伎」。グランシップでは中学生や高校生にも気軽に生の舞台に触れていただけるよう、毎年「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」を開催しています。是非、学校での芸術鑑賞行事としてご活用ください。

第一部:「解説 歌舞伎のみかた」 第二部:一流の歌舞伎役者による歌舞伎名作の鑑賞

日時:2019年6月26(水) 午前の部11:00～/午後の部14:30～ ※公演時間は120～150分程度

会場:グランシップ 中ホール・大地

★中高生鑑賞プランをご利用の場合

- 学生1人あたり800円 ※1クラスにつき引率教員1名無料、それ以外の教員800円
- 学校からグランシップまでの交通費を支援します(貸切バス、公共交通機関とも)
- 歌舞伎の歴史などが掲載されている歌舞伎読本と公演プログラムを全員に配布します
- ご希望により、国立劇場職員による事前の歌舞伎レクチャーを学校で実施(先着)
- ※利用最低人数の制約はありません。小規模校、特別支援学校もお気軽にご利用ください。
- ※残席状況により、先着順で受付します。

お問い合わせ (公財)静岡県文化財団・グランシップ 企画制作グループ 担当:渡邊  
TEL.054-203-5714 MAIL.info@granship.or.jp



昨年の様子